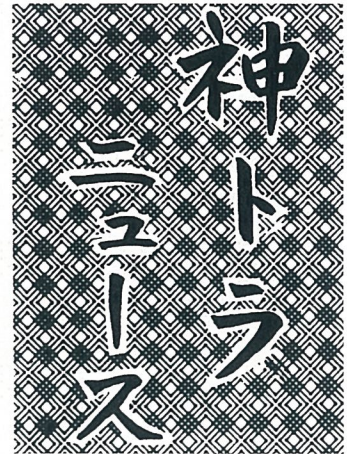




発行所

東京都千代田区内神田1-12-3

神田トラック運送事業協同組合

電話 3259-9977(代)

FAX 3259-9988

謹賀新年

旧年中は組合の運営と
事業利用に格別のご協力を
賜わり厚くお礼申し上げます
本年も相変わらずご支援の程
お願い申し上げます

平成二十八年 元旦

神田トラック運送事業協同組合

理事長 平岡 祐介
副理事長 赤尾 裕功
〃 菅 進一
〃 澁谷 隆義
〃 原 島 一壽
他 役 員 同



平成二十八年

年頭のご挨拶

理事長

平岡 祐介



新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様にはお健やかに良い新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は組合創立四十周年を迎えてのスタートとなりました。昨年は、消費税増税の影響が和らぎ、原油安、円安等、景気を支える要因もあり、さらに外国人観光客の増加や個人消費の回復などで景気は回復傾向にありました。しかし、トラック運送業界、神トラの一年を振り返りますと、一昨年は消費増税前の駆け込み需要により物流量が急激に増加したこともあり、昨年は前年に比べ、輸送量の減少が見受けられる結果となっております。軽油価格は下落しておりますが、運賃単価を引下げられる事業者も少なくないようです。

このような景況の中、今後会社の存続、発展には何が重要なのか考えるところでは、

そんな中、私の目に留まったのが、東急の社長がいられていた渋谷の再開発の話をしていた番組です。東急と言えば五島慶太と五島昇ですが、西武は堤康次郎、息子である堤義明、堤清二がいます。親子共々優れた経営者であったと感じます。

しかし、今の東急で取締役役に五島という方はいませんし、西武にも堤という名前は見当たりませんでした。

運送会社では親子代々経営者を引継ぐケースが多いのですが、最近では家族ではない方がトップに就任するケースも見られるようになりました。会社を守り永續させ、社員的生活を守るためにも、優秀な人材を求めるということでしょうか。

産経新聞に一昨年11月から「編集日誌」という記事が連載されています。いまなぜ「番頭」なのかというテーマです。番頭は企業や組織のトップを支えるナンバー2であり、番頭の役割や資質を明確にするのを狙いとしています。1回目は創業家以外では初めて社長に就任したサントリーホールディングスの新浪剛史を取り上げています。サントリーは、「物言

う番頭」という経営手腕だけでなく、後継者を育てる使命も求めています。新時代の「BANTOU」像としてプロ経営者が注目されています。三菱商事本社の会議室で、小島副社長に18才年下の部下が机をたたかんだばかりの勢いで声を荒げ詰め寄ったのは、当時42才の新浪剛史であり、

相手が誰であろうと云うべきことは、はっきりと直言した。副社長は「かわいくない部下の典型だった」と振り返る。サントリーの佐治会長は、大企業病への危機感を持っていた。「やってみなはれ」の「やんちゃ」な企業風土を取り戻すには、物言う番頭の力が必要だった。

また日産自動車では、ゴーンに左遷された志賀が「会社のために野心的になつてくれる、経営者としての能力もある」と評価され最高執行責任者(COO)に志賀を起用する人事を発表した。しかし業績は悪化しゴーンが激怒したので、志賀は「誰かが責任をとらなければならない」とその場で辞任を決意した。今も志賀は恨み節ひとつ口にしない。いざとなったら「ゴーンを守ることが日産を守ること」という番頭哲学の表れだと思ふ。

日本電産社長永守重信は、夢の10兆円企業に向けて、優秀な外部人材の獲得を進めている。元シャープ社長、元カルソニックカンセイ社長、元日産自動車執行役員、元エスエス製薬取締役を引き抜いて「番頭」集団とした。将来の日本電産を託す後継候補である。挫折経験こそが、優秀な人材を育てるというのが、永守の持論だ。永守の番頭戦略は「M&Aと同じ、時間を買うこと」という細心の気配りと冷静な方針がある。そして自らが先頭に立ち、365日ハードワークを続けている日本電産は、

現した方が良いのか。

一方は友人表現したのが夕食の後のホテルでの演奏の事である。弾きも語りもさすがに良い物ではあったが、他に行く所があったため半分しか観ていませんでした。

第二に印象に残ったのは、青森と言えば「ねぶた祭り」である。

もの本には「眠り流し」と言う農民の行事から「ねぶた」と言われたと書いてありましたが、実際に山車を見たことがなく映像では横長の山車と印象はあったのだが、立佞武多の山車を展示された館に行きあまり映像でも見たことのない縦に高い山車を目の当たりにして圧巻を覚えました。

いくら高いとは言えあの巨大なビルの中に吹抜けまで届くぐらいの山車が鎮座している姿は祭りに賭ける土地の人達の心意気が迫る思いでした。

又、運送を生業としている私に祭りの際はこのビルからこの山車を出すと一言事にも驚かされました。

この様な楽しい旅行ですので、「何の研修だ」と言わず、多くの参加をお願いいたします。

昨年の大変な時期を乗り切られ、今年も大変かと思いますが良い一年でありますようにと願う次第であります。

筋トレで元気に。

(株) スガマトランスポート 代表取締役 宮本 徹夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は私の周りでも体調を崩される方が多かつたように見受けられます。

実は私も一昨年、「多発性円形脱毛症」と言う難病になり頭部に500円玉ほどのハゲが沢山でき大変悩んだ時期がありました。

専門の病院にも行き、それらしき治療も受けましたが一向に改善がみられず、最終的な医者の見解は「自然治癒を待つしかない」との事でした。エーイそれならと頭をスキンヘッドにし現在に至ります(笑)

そんな時に出会ったのが筋トレ(筋肉のトレーニング)でした。(青汁できな) 笑

縁があり、日本でもカリスマと称さ

れるPT(パーソナルトレーナー)に薦められ週2〜3回現在もトレーニングを続けています。

日本では筋トレにまだまだ誤解があるので簡単に説明しますと、筋トレをすると成長ホルモンの分泌も促進されストレス発散がきたり機能が高まり、活力が湧いてくるといわれています。

毛細血管の隅々まで血流がいき自然治癒力が上がる。

筋肉は破壊と回復の繰り返しで大きくなりつづけます。トレーニングで筋肉を破壊し、栄養と休息で回復し強く大きく成長します。

現在は、ベンチプレス120kgデッドリフト170kgスクワット180kgをこなした持病の腰痛も良くなり、血圧も正常値に近づきつつあります。(あくまでも個人の感想です)

今後はPTの資格を取得し、乗務員さんへの腰痛予防の指導や老人ホームへ慰問し、高齢者が何時までも歩けるような運動等のお手伝いが出来ればと考えています。(汗)

今年も物流業界には決して楽な環境ではないでしょうが明るく元気に乗り切っていきたいと思っています。

皆様、今年もご指導ご鞭撻宜しくお願ひ申し上げます。

えっ円形はどうなったかって？

まだツルツルです(汗)

追伸…写真は円形になる前の写真です。

環境整備

名鉄ゴールデン航空(株) 取締役管理本部長 小林 敏雄

新年あけましておめでとうございます。

当社は昨年より「環境整備」に取り組んでいます。それは掃除を通して環境整備をすることです。掃除から始める良い習慣づくり、良い環境づくり。コスト削減、前向きな人材の育成につなげて、組織力を向上させ業績を上げることを目的としています。「掃除道」という言葉をウェブ検索していただくとどういふことか解っていただけたらと思います。まずは本社からということで毎朝9時より10分間、社員全員で掃除をしています。最初の5分は本社内全体の掃除、次の5分は曜日ごとに「無上位エリア」を決めて磨き上げています。「無上位エリア」とはその場所、物をそれ以上が無いように磨き上げることです。掃除で「向上心と気づく心」を磨く。大切なことは10分間、その瞬間に集中すること。もちろん洗車された車両、掃除された事務所は基本であります。その掃除を一步

進めて、「環境整備」として気づきのある社員、リーダーを育成することに繋げる。今後はこの取り組みを全社に展開する計画であります。

また本年は安全対策の一環としてドライブレコーダーを導入する予定です。

現在も集合安全教育や添乗指導を実施していますが、安全対策をより進めるためドライブレコーダーの記録から運転状況を確認することにより細やかな指導をすることにより事故防止に活用していきます。

プライベートでは近年始めたゴルフが弊社には神トラ親睦ゴルフでも優勝されたことのある大先輩の鈴木さんがおられたにも関わらず、小生は練習とセンスが不足しているようで行っても、右に左にと周りの景色を楽しむこともままなりません。今年はいま少し良いスコアを出そうにしたい、景色を見る余裕を持ちたいと願ひセンスのなさもカバー出来るよう練習に励みたいと思っています。

理事としては1年生であります。皆様にご指導頂きながら神田トラック運送事業協同組合のお役に立てるよう頑張りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

登山の楽しみ

三洋包装運輸(株) 取締役 濱野 彰彦

創業時の経営3原則に「非同族企業」を掲げた。同族企業は親族を社長や幹部に登用するため、実力の有る優秀な人材の意欲を削ぐ恐れがあるからだ。

明治維新から戦後の高度成長期の間も、日本企業は番頭と共にあった。本田技研の創業者本田宗一郎を財務面で支えた藤沢武夫、松下電機の創業者松下幸之助を経理から海外事業までバックアップした高橋英太郎など、「大番頭」と呼ばれた人たちは少なくない。

深い信頼関係で結ばれた社長と、「BANTOU」がいる企業は、最高のパフォーマンスを発揮することが出来るという内容について、皆様のご参考になったでしょうか。

本年も皆様にとって良い年となるよう祈念いたします。

◆新春特別寄稿◆

会社は「安全第一」、自分は「健康第二」

(株) マルノウチ 管理統括部次長 森本 岳

神田トラック運送事業協同組合員の皆様、神トラニュース読者の皆様、新年あけましておめでとうございます。

新年から前任の八巻より業務を引き継ぎました株式会社マルノウチの森本岳(もりもとがく)と申します。

神トラニュースへの投稿は初めてのこととなります。なにを書いてよいが見当もつきませんので、自身の会社での業務内容や本年の抱負などを書かせていただきます。

「存じの方もいらっしゃるが、あらためて株式会社マルノウチを簡単に紹介いたします。当社の営業部門は「車を運ぶ」積載運輸事業部、「人を運ぶ」MDS(マルノウチドライバーズ サービス)事業部、「飲料を運ぶ」物流サービス事業部で構成され、100名超の従業員が勤務しています。管理部門は「ヒト、モノ、カネ、情報」の経営資源を管理する管理統括部があり、20余名で切り盛りしています。私は「モノ」担当の総務・安全課に所属しています。管理統括部のお客様は「従業員」、その役割は事業継承・会社を守ることです。その中で総務・安全課の業務範囲は「ヒト、カネ、情報」以外のすべてのものが対象となっており、事務什器等の修繕や入替、購買、会社物件の維持管理、損保代理店、役所対応(警察署、消防署、労働基準監督署、運輸支局等)、法務関係(各種契約書締結、登記、訴訟等)など様々な

ことに首を突っ込んでおります。

すでに経験された方もいらっしゃると思いますが、昨今の役所の運送業への対応は「労働災害防止」という錦の御旗のもと労働基準監督官(署)が突然事業所へ訪問(監督官曰く「定期の」立入検査だそうです)するところから始まります。労働基準法・「自動車運転者の労働時間等の改善の基準」・労働安全衛生法等に基づいて帳票類の調査、管理者への聞き取り調査を行い、必ずといってよいほど「是正勧告書」または一段軽い「指導票」での行政指導を行います。その内容が都道府県労働局へあがり、その労働局から管轄の運輸局へ「通報」、運輸局から事業所(営業所など)を管轄する運輸支局監査部門へ「監査実施指示」があるそうです。各トラック協会の適正化事業巡回指導と違い、法令違反をしていることを前提に監査となること、改正ごとに厳格化されていく行政処分内容もあり、少しでも違反をしていた場合は行政処分の対象となります。

こちらへの対応も重要な業務のひとつで、昨年8月に労基署検査、10月には運輸支局持込監査へ対応しました。労基署では指導票、運輸支局監査は「指摘事項無し」の結果となり、ほっと胸をなで下ろしました。また、あつてはならないことですが、重大事故を惹起すると運輸支局等(内容によっては労基署も)による特別監査→重い行政処分となり、会社と自

分たちの仕事を守るため「安全第一」の実践はわれわれ運送業の必須事項と強く感じています。

本年の抱負にもつながることですが、ほっとした運輸支局監査直後、強烈な腹痛におそれ、痛みに耐えつつ帰宅し医者へいくと「腸閉塞」の診断、そのまま入院となりました。幸いにして手術せずに済みましたが、会社は長期休業、10月23、24日の研修旅行欠席と周囲にご迷惑をかけてしまいました。48歳にして「健康」はなんと大事なことがと反省した2年となりました。周りに迷惑をかけたこと、しっかりと仕事をするため、本年の抱負は「健康第一」です。元気に活躍している神トラの諸先輩方から、「健康の秘訣」をご教授いただけると幸いです。本年は健康を維持して自分の役割をまっとうしたいとおもいます。今後ともよろしくお願ひいたします。

「昨年の行事参加を振り返る」

丸万協立運送(株) 代表取締役 堀木 幸美

新年あけましておめでとうございます。

さて、今回初めて神トラニュースに投稿させて頂くにあたりまして、私が組合のお仲間に加えて頂くきっかけは組合で主催されておられるゴルフコンペが最初でした。

そのことから旅行にも何度か参加させて頂いておりますが、この旅行は一泊とは言え役員の方々や事務局の方々による綿密な計画を立てられた催しであり、現地に於いてもいろいろ御苦勞させるなど只々私のような参加するだけの者には贅沢な旅行です。

ちなみに、昨年の旅は青森県で今回は前回のようにバスだけの旅ではなく新幹線を利用した事でより一層の一体感の持てるそれとなったことは言うまでもありません。

その中で私が第一に印象に残った物は、寒くて寡黙な地域性のある所の物と勝手に感じさせていた。それは「津軽三味線」である。

それはもともと目の不自由な方が金品を手にするための芸であった事を映画等で見聞きしていたためである。と言っても最近のその芸は興行化している様ではあるが、今回観た「津軽三味線」は対照的な芸を見た思いがあります。それは素人と玄人の芸だった。

一方は素人と悪く言った郷土料理を食べさせる店の事だが決して下手と言う意味ではなく、庶民的と表

翌日は天気予報の通り雨の朝。なんと本日の最大の見所である十和田湖、奥入瀬はもってこれとの願いが通じたのか発着時から見た十和田湖は寒くて風も強かったのですが湖の全貌をはっきり見ることができました。

そして奥入瀬も雨がさがって絶景の場所を1キロほど二カ所歩くことができました。川の流れに映える紅葉が時折見える滝の流れとも相ま



お肌すべすべの温泉に浸ってから大宴会になりました。美味しい料理に満足しカラオケで盛り上がり、その後はロビーでの津軽三味線の演奏を聴いて楽しい夜を過ごしました。



に到着しました。部屋に入ったとたん陸奥湾に沈むきれいな夕陽に感動

しかしここから外は大雨となり予定していた八甲田ロープウェイでの空中紅葉散策も運行中止でやむなく新青森駅へ直行となりました。

予定していた全行程を完遂することはできませんでしたが参加してくれた皆様から「楽しかったよ」「次も期待しています」と言われて責任はありますが安堵しました。次回も事務局と相談して楽しい企画を考えるので多くの会員の皆様の御参加をお待ちしています。



その後は八甲田の山並の紅葉を見ながら昼食場所の八甲田ホテルに行きました。ここでは素敵なフランス料理とワインで至福の時間を過ごしました。



で最高の景色を楽しむことができました。



新年明けましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては、穏や
かに新年を迎えられたこととお喜び
申し上げます。

私の趣味のひとつである登山のこ
とを少し書かせていただきます。

最近が高尾山が人気となり、その賑
わいは正に「山の銀座、山の新宿」
となった感じがありますが、登山は
自分のグレードに合わせてたくさん
の山の中から登りたい山を選ぶ楽し
みがあり、また四季それぞれ違った
景色を見ることができ、同じ山を
何回も楽しむことができます。

私も山に登り始めてかなりの年数
になりますが、登山のきっかけは中
学3年生の時に学校の行事で富士山
に登ってご来光を見た事と（もった
いこの時は「山登りは辛い」という
ことだけでしたが）、その後書店で
「山と溪谷」という月刊誌を偶然手
に取り、多くの素晴らしい山々の写
真を見て感動し、いつか自分もこの
ような山に行つて実際に見てみたい
と思ったことからでした。そのよう
な思いを抱きつつ高校・大学時代は
丹沢や奥多摩の山を登る程度でした。
ところが会社に入社してから山への

気持ちが強くなり、程なくして社会
人登山会に入り本格的に登山を始め、
夏山だけでなく冬山も経験しました。

好きな山は数多くありますが、山
形県の月山（標高2168m）は特に好き
な山のひとつです。修験道で有名な
出羽三山のひとつである月山は、標
高1500mまでスキーのリフトで上が
れるので夏や秋は頂上までの日帰り
も十分可能です。ただし冬は10mを
越す積雪のため、スキー場の開設期
間がゴールデンウィークから7月下
旬までという関東地方では考えられ
ない期間となっており、8月のお盆
シーズンでも（その年の積雪量にも
よりますが）直径50mくらいの大
きな雪田が残っており、半袖・短パ
ン姿でスキーを楽しんでいる人を見
かけます。この時期は高山植物もた
くさん咲いていて綺麗ですし、頂上
の小屋に泊まることにはベルセウス
座流星群を肉眼で見ることができま
すので、願ひ事がたくさんある方に
は最高だと思えます（笑）。さらに月
山の麓の鶴岡市で開催されている花
火大会は、山頂から遥か見下ろすか
たちになり、打ち上げ花火の大きな
輪も月山から見ると自分の手のひら
の上に乗せることができるくらい小
さく見えます。

また、月山は周囲に高い山がない独
立峰であり、それに加えて山頂から
は鳥海山、蔵王連峰、そして日本海
まで、360度のパノラマが楽しめます。
夕日やご来光は富士山や北アルプス



秋の研修旅行会
研修交流委員会
委員長 蒔谷 隆義

の山々から見ると同じくらい素
晴らしいと思います。ただし標高は
2000mに満たないものの緯度がかな
り北にあるので、夏でも夜はかなり
冷え込むため防寒対策が必要です。

夏ばかりでなく10月頃の紅葉も
とても綺麗で、まさに「錦秋」とい
う言葉通りの景色になり、特に太陽
が沈む時間帯の素晴らしい景色は格別
です。この時期に麓の山小屋に泊まる
と地元で採れたきのこがたくさん入
ったきのこ鍋が出て、体がほかほか
になります。

月山の周囲は広大なブナ林である
ため、美しい水が湧き出ており環
境省選定の名水百選にも入っています
ので、是非一度味わってみたいだ
と思います。

日本は山国ですから月山以外にも
飯豊連峰、南アルプス、新潟・福島
の山々、屋久島の宮之浦岳など、私
の好きな山はたくさんありますが、
また機会があればご紹介したいと思
います。

昨年の研修旅行は、神田トラック
運送事業協同組合設立40周年記念
として新年会の神田明神に続いて企
画させて頂きました。

毎年、秋葉原よりバスを使って関
東近辺の名勝旧蹟を見学して温泉地
に宿泊するパターンでしたが今回は
豪華に東北新幹線を使って青森県の
名勝と温泉地を訪ねる企画を考えま
した。

平成27年10月23日快晴の早朝に東
京駅から新幹線に乗って総勢24名で
一路新青森駅に向かいました。片道
3時間半の旅でしたが車窓から
紅葉の景色を見たり、おしゃべりし
て青森の旅に胸躍らせていました。

12時前に新青森駅に到着して観光
バスに乗り替え最初の昼食場所であ
る五所川原の「だんだん」というお店
に行きました。ここは以前私の訪れ
たお店で美味しい郷土の料理とお酒
を飲食できる他に店主と女性の店長
（師匠と弟子の関係のようです）の
二人で本当に迫力のある津軽三味
線の演奏が聴けて感動しました。今
回もお願いして再訪が叶い感動した
のはもちろんですが参加会員の皆様
にも喜んで頂き嬉しかったです。



その後、青森県の物産館に寄つて
お待ちかねの浅虫温泉の「海扇閣」

秋の神トラ 懇親ゴルフコンペ

研修交流委員会

委員長 澁谷 隆義

春の若洲ゴルフリンクスでの開催に続き、今回は秋は千葉県鳳凰カントリークラブで平成27年11月18日に開催されました。今回は15名の参加で快晴の中、社会人の全日本選手権にも使われた難コースに挑みましました。

苦勞もされたでしょうが無事に一人の脱落者、怪我人もなく18ホール回ってきました。

懇親会では親睦ゴルフの名の通り全員ゴルフの話はもちろん仕事の話などで楽しい時間を過ごしました。ちなみに優勝者は栄和運送(有)の高濱様でした。おめでとございます。

次回春の親睦ゴルフコンペは平成28年5月11日に若洲ゴルフリンクスで開催を予定しております。

本当に楽しい会ですので上手・下手に関わらず参加して頂き神トラのゴルフ仲間になりましょう。

❖事務局だより❖

組合員の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年中も多大なる組合へのご協力、ご支援誠にありがとうございました。

した。今年も皆様にとって実り多き一年となりますよう願っております。

昨年は、組合主催による「ETCコーポレートカード管理者講習会」を開催いたしました。



日頃見過ごしている注意点や、カード管理についてお話しさせていただきました。本年も各事業において、皆様への情報発信、また利用者様のご不明点などを解く内容の研修会を計画したいと思っております。

多くの皆様のご意見、疑問点をお聞きしながら、研修会等の企画をしてまいります。

全89社の組合員様と共に歩み、神トラ発展のために、その先には組合員様の発展に繋がりますことを願い、本年も精進してまいります。何卒宜しくお願い申し上げます。

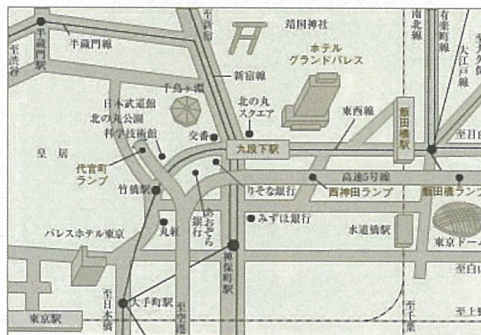
❖お知らせ❖

○1月上旬、お年賀の御挨拶に代えて、恒例により三越から粗品をお届け致しましたので、ご査収下さるようお願い致します。

○平成28年の新年会は1月27日(水)、例年とは会場を替えまして、ホテルグランドパレスで開催いたします。

今回は、「JAZZの夕べ」と題し、素敵なJAZZ演奏と歌を聴きながら、会食を楽しんでいただけるよう企画いたしました。是非ご出席下さるようご案内いたします。複数名様のご出席も大歓迎です。

ホテルグランドパレス アクセス
・地下鉄「九段下駅」
東西線7番口より徒歩1分
半蔵門線・都営新宿線3a・3b番口より 徒歩3分
・JR・地下鉄「飯田橋駅」より徒歩7分



高速道路料金 大口多頻度割引制度の 継続について

昨年末に、コーポレートカードご利用組合員様にはご通知いたしました。28年度以降の高速道路料金の大口・多頻度割引制度の継続に向けての予算措置を含めた国の27年度補正予算案が閣議で決定されました。

① 上記予算措置によりETC2.0導入車は50%割引が適用される。

新しいETC2.0を装着するトラックについては、平成28年4月以降も大口・多頻度割引50%の対象となります。

② 現行ETCも一定期間は50%割引が継続される。

現在使用しているETCを平成28年4月以降使用する場合も、一定期間に限って50%割引となる。

③ ETC2.0には行政機関等から助成が予定されている。28年2月以降、行政機関等からETC2.0導入に際し、一定額の助成措置がとられる。

ETC2.0車載器購入支援について

ETC2.0については、国土交通省において普及促進が進められているところですが、NEXCO3社及び高速道路機構では、車載器購入支援を以下の通り検討中であり、2月頃に具体的内容について公表する予定です。

【支援額】1台当たり1万円

【支援台数】数十万台規模

(業務用車両を中心)

今後、新たな情報が入り次第随時お知らせいたします。